

# 星屑

No.318  
Sep. '01



180mm F2.8 180S  
Bitrun BT-11C  
3:34 7/3 '01

リニア彗星 C/2001A  
180mm F2.8 冷却CCD (BT-11C)  
2001年7月3日3時34分  
3分間露出 撮影：ひげさん

熊本県民天文台

# 第15回 天文教育普及研究会

(8月5～7日) 全国集会 レポート



天文台のメーリングリストで何度かお知らせしたように、8月5日（日）から7日（火）までの3日間、天文教育普及研究会の全国集会在九州地区で開催されました。

例年、全国集会への九州からの参加は1名か2名程度だったそうで、九州地区での熱心な活動の様子は全国へ広がりにくい状況だったわけですが、今回は九州全域から30名近い参加者があり、意見交換や交流で、大変賑やかな集会となりました。

全国各地から集まった30名ほどの仲間を加え、途中から参加した人を含めると70名近い熱心な活動家たちが、天文教育や普及

活動について、プロやアマチュアのそれぞれの視点から、活発な発表と質疑応答を繰り広げました。

私（艶島）とヒゲさん（中島）は、初日から2日目の午前中にかけて参加しましたので、その報告をします。

今回は、アマチュアの活動が大変活発な九州地区の特長を生かそうと、二つの大きな独自企画が用意されました。一つはバリアフリー天文台についての持ち込みセッションで、もう一つが、実際の一般公開現場での工夫を紹介し、討論のきっかけをつくらうとするナイトセッションです。



熊本県民天文台からは、昼間の部、セッション2「天文教育の新しい視点」でも「熊本県民天文台での試み」と題し、「デジカメで星空」についての一連の取り組みを、観望時に行っている解説の工夫の一環として紹介しました。発表は、例によって「電子紙芝居」を使ったもので、会場から活発な質問もあり、まずまずの反響でした。



天文教育の新しい視点 熊本県民天文台 入会申込書・観望会申込書の発行開始のお知らせ

5/25(水) 19:00から20:00まで開催。19:00開場。観望・観望後の星空観察。20:00から20:30まで観望会。20:30から21:00まで講演。観望会参加費は無料。講演参加費は500円。

**天文学 観望講座 「デジカメで星空」** **参加者募集!**  
熊本県民天文台

<p><b>2007年 第7回 土曜観望講座</b></p> <p>講師 日 川 洋 子 (天文学者、観望会講師)</p> <p>会場 熊本県民天文台 観望会棟</p> <p>観望 20:00から20:30まで</p> <p>講演 20:30から21:00まで</p> <p>参加費 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>申込 5/25(水) 19:00から20:00まで</p>	<p><b>参加するには</b></p> <p>1. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>2. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>3. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>4. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>5. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>6. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>7. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>8. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>9. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p> <p>10. 観望会参加費は無料、講演参加費は500円</p>
---	---

会場の一番前の席には、国立天文台の磯部先生がデンと座っておられ、ときどき「鋭い突っ込み」をされることもあって、なかなか緊張感あふれる状況でしたが、そんなことを忘れてしまえるのが「電子紙芝居」の良いところ。周到に準備した(?) 筋書き通りに発表できました。

適切な機種デジカメを使えば、手軽に天体写真が写せるらしいことは、天文雑誌

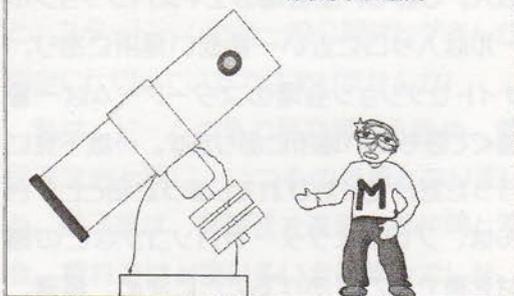
の紹介記事などで浸透し始めましたが、おもに取り上げられるのは、いつもの「美しい天体写真」の延長線。今回の発表では、天文教育の現場や公開天文台での普及活動に注目し、活用できるいくつかの撮影例を示した上で、「一般の観望や学校教育と連携するとこんなことができる」という今後の方向性を示した点で、画期的だったと私は思っています。

## どんなふうに写るか?

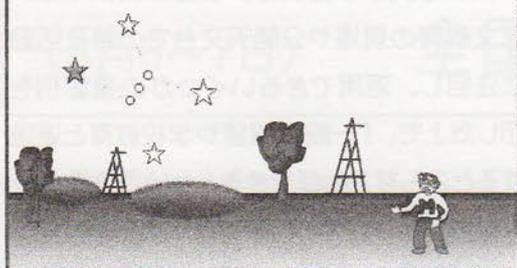
1. 望遠鏡で見えているとおりに  
NIKON E800、8秒露出でOK  
月・惑星から恒星・星雲まで
2. 星座や星野写真も大丈夫  
ノイズ処理できる機種や  
長時間露出機能モデルも出てきた



## 3. 観望時撮影、テーパ持ち帰り 体験学習に最適



2. 観望時撮影、データ持ち帰り  
星の動きもよくわかる



いつも 波の先頭で 遊んでいた



最後に用意しておいたエンディング画面は、私流「波乗り理論」(=波の先頭にいると波のエネルギーでスイスイと前へ進み続けられる)を漫画にしたもの。望遠鏡を持っている手よりもビールの方が重そうに見えるところが「笑い」です。

さて、発表が終わると、休む間もなく食堂へ走り、夕食をあわただしくかき込んで、ナイトセッションの準備に取りかかりました。

何しろ、夜須高原少年自然の家の敷地は広大。しかも、主会場のエキスパンションホールは入り口に近い一番低い場所にあり、ナイトセッション会場のスタードームが一番遠くて最も高い場所にあります。一度下見に行っただけでくたびれてしまった私とヒゲさんは、プロジェクターやパソコンなどの機材を車ではこびあげることに決め、早速、

行動開始。

いろいろ悩んだあげくに、「電子紙芝居」の上演会場として、スタードーム1階のスタディールームを選びました。屋上のドームでは、ペンタックスの20cm屈折望遠鏡を使った一般公開が始まり、同時並行で星座解説や星の民話の「電子紙芝居」を上演です。演目は、次の3つでした。

きかいじま  
喜界島のアメリカ

さつなんぶどう たねばでんせつ  
薩南諸島に伝わる七夕伝説



絵と構成： つやしま たかあき



夏の星空

アメリカンインディアンたちは  
むかし、鳥だつたと  
思っているらしい



3つ合計で、およそ35分間、会場は大きな笑い声や「突っ込み」や質問などであふれ、どうなることかと心配していた私をほっとさせてくれました。

だって、日頃の天文台での上演や出張観望会で上演するのと違って、ここでは観客のほとんどは第一線の天文学者を含む「研究会」のメンバーだったのでから。

日頃、子供たちの「突っ込み」に慣れていたせいでしょうか、厳しい指摘も落ち着いて切り抜け、それを題材に更に電子紙芝居を展開するという「電子紙芝居」ならではの面白さを味わっていただくことができました。



天文教育や普及を考える上で、科学離れや理科離れを嘆いたり批判したりするばかりではなく、「学習することの楽しさ」を体験してもらえそうな「素材」を、自前で簡単に準備できる「電子紙芝居」に、もっと多くの人が取り組んでくれるようになることを期待したいですね。

会場の熱気からは、「手応え十分」の感触が得られました。今後の「電子紙芝居」の普及にいつそう力を注ぎたいと思います。

今大会で、一番多くの発表時間を与えていただいたので、手ぶらで帰っては申し訳

ないところですが、さすがに一流の学者さんも参加されていて、間違った解説の部分にはすぐに鋭い指摘の声が挙がりました。

「夏の星空」の中の「惑星状星雲」についての解説部分です。この部分は、作成中に「あれ? どうだったかな?」と思いながら、先を急いだ部分です。「やっぱり!」と反省しつつ、帰宅後に早手直ししました。専門家の監修を無料でしていただいた結果になりました。Y先生ありがとうございました。



ところで、ナイトセッション「一緒に星をみようよ」=「電子紙芝居」の会場で、写真撮影してくれるはずだったヒゲさん、「電子紙芝居」が始まったとたんに姿が見えなくなりました。終わって外に出てみると、はるか頭の上から声が降ってきます。

「早く上にあがってきて!」と言っているようです。屋上へ上がると、まだ大勢の人が火星を見ようと列を作っていて、解説系の学生さんたちはドーム内で汗びっしょり。なんと、スタードームでの一般公開はヒゲさんが完全に仕切っているではありませんか!

私は、ドームの外で星空解説を始め、県民天文台と同じ、いつもの光景となりました。終了後は、深夜まで遠来の星仲間と宴会。疲れたけど実り多い全国集会でした。

## 星の停車場 (9) いて座

土山由紀子

夏の終わりが近づき釣瓶落としのように日没が早くなっていく頃、薄明が終わった南の空には夏の名残を惜しむように、いて座付近の銀河がひとときわ明るく輝いています。この方向には私たちの銀河系の中心があり、そのため沢山の星が見えるのです。

いて座には1等星はありませんが、六つの星が象る北斗七星とよく似た柄杓の形が目につきます。中国ではこれを南斗六星と呼び、死を司る北斗七星に対し、生を司る神として崇められていました。人が生まれるとき、北斗七星と南斗六星が話し合っって寿命を決めるのだといひます。

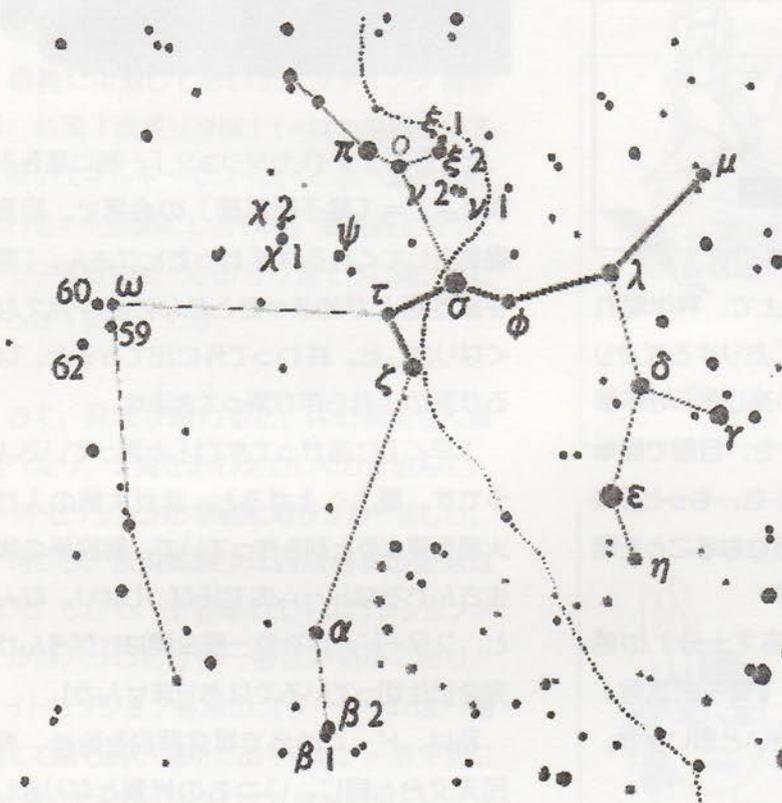
同じ星列が、西洋ではミルク・ディパー(the Milk Dipper: 乳さじ)として親しまれてきました。ミルク・ディパーとは、赤ちゃんにミルクを与えるときに使う小さなスプーンのこと、ミルク・ウェイ(銀河)のミルクをすくうように空に懸かっています。

弓矢を持った射手は、ギリシャ神話では半人半馬のケンタウルス族、ケイロンの姿。ケンタウルス族は粗野な種族として知られますが、ケイロンは、ゼウスの父クロノスとニンフのピリュラの間にもまれた善良な賢者でした。クロノスが、妻レアの嫉妬から逃れるために馬の姿でピリュラと会ったため、ケイロンは半分馬の姿で生まれたということ

です。慈悲深いケイロンは、へびつかい座となった名医アスクレピオスらを育てますが、ヘラクレスがケンタウルス族と闘った際に流れ矢に当たって命を落とし、星座となりました。

この星座一番の輝星は弓の南端にあるε星(1.9等)で、α星もβ星も4等星。高度も低く目立たない存在です。

各星座の主な星についているα、β、γ…という符



号を“バイエル名”と呼びますが、これは、ドイツのヨハン・バイエルが1603年に出版した『ウラノメトリア』という本の中でつけた符号で、ほぼ明るい順に $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ …の名が与えられています。

バイエルは主な資料としてティコ・ブラーエの星表を用いましたが、ティコのデータにない南の星々については、プトレマイオスの星表やオランダの航海士ペトルス・テオドリ（ラテン語名：ピエトル・ディルクス・ケイザー）の観測資料で補完しました。いて座の $\alpha$ と $\beta$ は、ティコの星表に載っておらずプトレマイオスの星表で2等星とされていたため、バイエル名の順番と実際の明るさが逆転しているのです。

順番が逆転している星は他の星座にもたくさんあり、このように用いた資料によるものや、星の明るさが本当に変わってしまったものなど、様々な理由があるようです。

$\alpha$ 星(4.0等)は、名をルクバトといい、“射手の膝”を意味するアラビア語ルクバト・アル・ラミの“ひざ”の部分が語源。よく似た星名として、はくちょう座 $\omega$ (ルクバ)、カシオペア $\delta$ (ルクバー)がありますが、同じくアラビア語の“ひざ”が語源の名前です。昔は“射手の膝”のうち“射手”を意味するアル・ラミと呼ばれていました。

肉眼二重星の $\beta$ 星アルカブは、 $\alpha$ 星よりさらに南にあり、熊本でも南中時の高度が12度程度。“射手のアキレス腱”という意味のアル・ウルクブ・アル・ラミが語源です。 $\beta$  1(3.9等)をアルカブ・プリオル(前の腱)、 $\beta$  2(4.3等)をアルカブ・ポステリオル(後ろの腱)と呼ぶこともあります。

アラビアでは、二つの $\beta$ 星と $\alpha$ 星を砂漠の鳥と見て、アル・スラダインと呼んだそうですが、どういった鳥なのかは不明です。

弓矢の矢尻に輝く $\gamma$ 星(3.0等)アル・ナスルは、“矢の先端”を意味するアラビア語。訛ってナシュと呼ばれることもあります。

$\gamma$ 星にはアル・ワズルという別名が知られますが、こちらは1225年にイスラム圏で製作されたボルジア天球儀で名付けられた名前。弓と矢と射手の手が出会う場所であるところから、“接合点”という意味です。

$\gamma$ 星は古代ヘブライ人の間ではイスラエル12部族のマナセとエフライムの象徴とみなされ、キリスト教の時代には使徒マタイ(『新約聖書』マタイによる福音書の著者)であるとも考えられていました。

次に、弓を構成している3つの星、 $\delta$ (2.7等)・ $\epsilon$ (1.9等)・ $\lambda$ (2.8等)を見てみましょう。

$\delta$ 星は弓が矢と交差している部分にある星で、カウス・メディア(弓の中央)又は単にメディア(中央)と呼ばれます。カウスは、“弓”という意味のアラビア語アル・カウスが語源で、メディアはラテン語。カウス・メディウス(弓の中央)、カウス・メリディオナリス(南の弓)と呼ぶこともあるようです。アッカドでは、 $\delta$ ・ $\gamma$ ・ $\epsilon$ の3星をツバメの姿と見ていました。

弓の南端に位置する $\epsilon$ 星と、弓の北端に位置し、南斗六星の柄杓の柄の真ん中の星でもある $\lambda$ 星は、各々カウス・アウストラリス(弓の南の部分)、カウス・ボレアリス(弓

の北の部分)といひます。δ星と同じくアラビア語のアル・カウスと“南の”“北の”というラテン語が合成されてできた名前です。

さてここで、古代アラビアの、星座をご紹介します。古代アラビアでは、いて座の銀河付近の星たちを二つのダチョウのグループに見立てていました。

西側にあるグループ(γ・δ・ε・η・μ)をアル・ナッアーム・アル・ワーリド:(天の川へ)出かけていくダチョウ。これに対し、東側にあるグループ(σ・ζ・φ・χ・τ)をアル・ナッアーム・アル・サーディラー:(天の川から)帰ってくるダチョウとし、λをダチョウの飼い主(ラーイ・アル・ナッアーイーム)と見ます。

ダチョウたちは川へ何をしに出かけているのでしょうか?

“水を飲み”と考えるのが自然ですが、ダチョウは水を飲まないと思われていたため、この星座の解釈には異論があったようです。実際には、ダチョウは多汁質の植物や種子などの食物から水分をとるほか、水を求めて遠くまで移動することもあるそうですから、やはり、水を求めて行ったり来たりしているのかもしれませんが、それとも単なる水遊びでしょうか?

そんなことを考えながら天の川周辺の星々を、川辺を歩くダチョウの姿に想像してみると、いて座の星々が生き生きと見えてきますね。

弓矢から離れて、今度は射手ケイロンの姿を見てみましょう。ケイロンの胸あたりに輝く南斗六星の一つと星(2.6等)には、ラテン語で“わきの下”という意味のアスケラという名がついています。この名は『アルマゲスト』のラテン語版(1515年)で初めて紹介されている比較的新しい星名だそうです。

可愛らしい二重星のν1(4.8等)とν2(5.0等)は、アラビアで“射手の目”を意味するアイン・アル・ラミ。しかし、この名は伝統的な星の固有名として使われていないため、日本の書物にはほとんど記載されていないようです。プトレマイオスは、ν1・ν2を「雲のような二重星」として紹介しています。

中国では、この2星と近くのο(3.8等)、ξ1(5.0等)、ξ2(3.5等)を合わせて旗竿と見ていました。空が暗かった時代の人々は、こんな小さな星の一つ一つに注目し、名前をつけて呼んでいたのです。

同じように、固有名として一般化しなかったアラビア名を持つ星として、π(2.9等)のアル・ナーッイルがあり、アラビア第21星宿(Al Baldah)における最も明るい星という意味です。

ところでこの“星宿”という言葉ですが、本当は中国の天文学で用いられる言葉で、アラビアでは正確には“月宿”という表現をしています。

さて、いて座で一番気になる名前を持っているのは、射手の右手に輝くσ(2.0等)、ヌンキでしょう。

ヌンキは“海が始まるしるし”という意味あいのシュメール語に由来するそうで、ユーフラテス地方で見つかった銘板に記されていた名前だそうです。古代のこの地方の人

々は、いて座の東側を空の海と考え、みずがめ座、やぎ座、いるか座、うお座、みなみのうお座、くじら座などの水の星座を配置し、いて座を水の星座の前ぶれであると考えていたのではないかと考察されています。

しかし、シュメール星座ヌンキは、現在ではアルゴ座（とも・ほ・りゅうこつ・らしんばん座）からみなみじゅうじ座にかけてであると同定する研究が多いようで、ヌンキという名についても、今後まったく違った説明がなされていくのかもしれませんが。シュメール語のヌンキは、もともとペルシア湾の港町として栄えた世界でも最も古い“神聖都市”のことだそうで、この名がいて座の固有名として定着した理由など詳しいことはわかっていません。

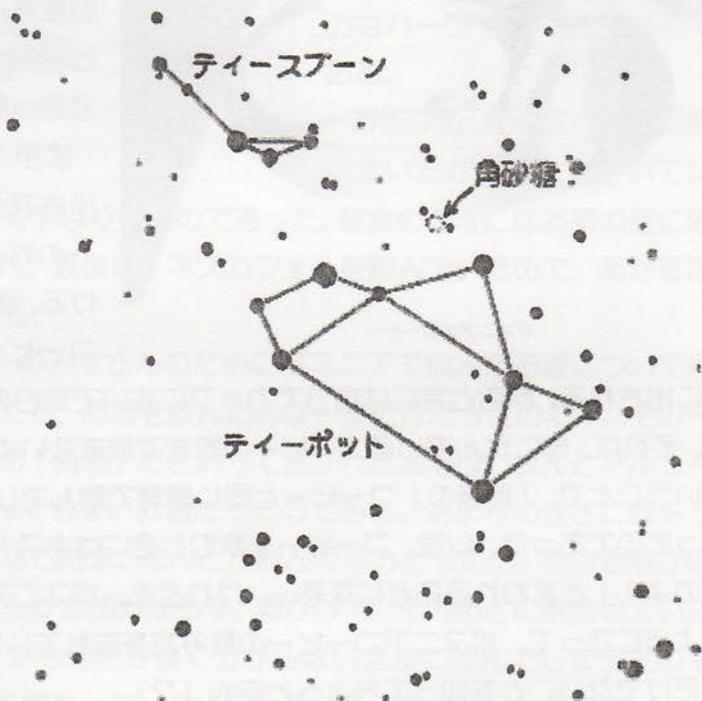
今度は射手のお尻の方を見てみましょう。

弓矢には多くの星々が集まってにぎやかでしたが、このあたりには明るい星が全くなく、寂しい領域にかすかな4つの星、 $\omega$  (4.7等)、59番 (4.5等)、62番 (4.6等)、60番 (4.8等) が不等辺四角形を作っています。

バイエルはこれらの星をテレベルムと書いており、これは、穴を掘るための道具：スコップのこと。かつて、いて座のお尻からやぎ座、けんびきょう座のあたりにあったという“スコップ座”が関係していると考えられますが、“スコップ座”についての詳細は何も知られておらず、テレベルムという名も固有名として一般に認められているものではなく、けんびきょう座の原形であるという見方もあるようです。

星の名前とはちょっと離れますが、最後に、ティースプーン&ティーポットとして親しまれているいて座の結び方を紹介しましょう。これらは数年前に米国天文誌『Sky & Telescope』で紹介されており、最近になって欧米で広まった見方ではないかと思いますが、日本でもメジャーになってきたようです。

ポットの上に 5.1 等で輝く球状星団 M22 を、スプーンからポットへ落ちていく角砂糖に見立てると雰囲気も格別ですね！



今回と次回は、旅行に行ったら必ず気になるのがその土地の食事、ということで、食文化を中心にボスニアの文化について取り上げることにする。

まず、今回は飲み物についてお話ししよう。ボスニアで一番ポピュラーな飲み物とったら、やはりコーヒーであろう。子供たちはコーヒーを飲まない（飲んではいけない？）が、大人たちはコーヒーが大好きである。実は、以前にボスニアに行ったことのある人が際限なくコーヒーのお代わりを勧められたという話を聞いていた私たちは、いかにしてコーヒー攻めをやんわりとお断りするか、ということを密かに悩んでいたくらいなのであった。（実際、その心配は杞憂に終わる）

コーヒーは日本でも見られるようなインスタントのものもあったが（商品名の「ネスカフェ」がインスタントコーヒーの代名詞となっていた）、オスマントルコ



ボスニアのコーヒー

の影響を強く受けたと言われるボスニアだけに、一般に飲まれていたのはコーヒーの粉を直接煮出して飲む「トルココーヒー」と呼ばれるタイプのものであった。

まず、左の写真にあるような小さな金属製の容器にコーヒーの粉とお湯を入れて火にかける。沸騰すれば出来上がりで、コーヒーカップと一緒にテー

ブルに出される。飲むときには自分でカップに注いで飲むのだが、ここで注意がひとつ。それは、底に沈んでいるコーヒーの粉まで飲まないようにしなければいけないということで、「普通の」コーヒーと同じ感覚で飲んでしまった私は咳き込んでしまったのであった。以後、コーヒーを飲むときにはホストのママに「ゆっくりと飲むのよ！」と言われることになる…。けれども、ボスニアでも「ネスカフェ」を飲むようになって、ボスニアコーヒーの飲み方を忘れてしまう人もいるんだとか。自分だけでないことを知ってちょっと安心（？）

そして、もう一つ付け加えておくべきことは、他の飲み物やお菓子にも言えることであるが、砂糖の量がスゴイのである。コーヒーを入れてもらうことが多かった

私は、敢えて砂糖を入れる瞬間を見ないようにしていたけれど、小さなカップに角砂糖の2、3個は楽に入っていたと思われる。同じく「ネスカフェ」も甘かった。しかしボスニアの人たちは、このようなコーヒーを一日に何杯も飲んでいるのだから驚かされる。甘いものには目が無い私が、ボスニアで目に見えて太ってしまったのも何ら不思議はない。

さて、次に他の飲み物についてもお話ししよう。日本でボスニアのコーヒーの話は聞いていたので、ボスニアの飲み物で一番びっくりしたのはお茶だと言えるかもしれない。インドかどこかのミルクティーのようだが、ボスニア語ではお茶のことを



ハイビスカスティー(上)、カモミールティー(下)

「チャイ」と言う。私はお茶といったら紅茶が来るとばかりに思っていたのだが、実際に出てきたのはカモミールティーで、次の日に出てきたのはハイビスカスティーだった。ボスニアで良く飲まれているのはハーブティーだったのである。

お茶は毎日、朝食のときに飲んでしたが、これもたいてい

砂糖やはちみつが入っていてやはり甘いのであった。朝食のときにはお茶以外にも果汁100%ジュースが出され、最後に「ネスカフェ」を飲んでいたので、朝からたくさん飲んでいただことになる。

さて最後に、飲兵衛(?)のみなさんのためにボスニアで飲んだお酒について触れることにしよう。と言っても、お酒を飲んだのは一度だけだったのだが、その一度が強烈だった。ボスニアの「梅酒」だといって注がれたお酒は、なんとアルコール度数が約50度というとんでもないお酒だったのである。あまりの強さに飲もうと口を近づけただけで咳き込む始末。なんとか飲んでみたものの、熱い感触が喉を伝わっていただけで味なんか全然分からず、おかげで、そのあとに飲ませていただいたクロアチア産のワインも何だか良く分からないままに飲んでしまったのであった。う〜ん、今から思えばもったいないコトをした。今度行くときにはしっかりと味わって来ないといけないナァ。

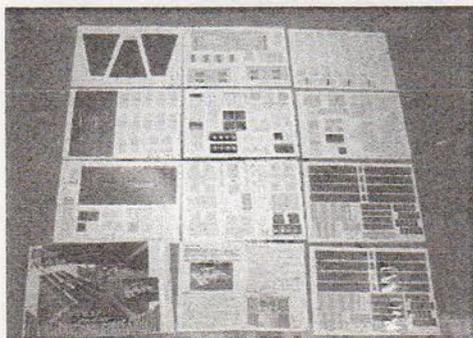
(続く)

# 7月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 12日/13日=92.3% 一般来台者数204名 会員来台64名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日(日)	晴	2名	艶島、中尾 T、高田、松本	「小学生の頃、旧天文台に来たことがある」という18才の少年とその友人。思い出をいっぱ話してくれた。火星、月、M7(艶島) ISS(国際宇宙ステーション)のペーパーキットをもってきました。天文台でくみてるので他の人はつくちゃダメですよ。(高田) 7/02 朝のリニア観望。写真撮影 有馬、矢住
2日(月)	快晴	ナシ		快晴なので LINEA の前に月と火星を、と思ってやって来ました。 ところがアンタレスがまたたいて… 昨夜と同じでシーイング悪くあきらめました。(TSU) 月、火星
3日(火)	快晴			月と火星の撮影。火星面のもようが見えません。そんなにシーイングは悪くないはずなんだけど… (TSU)
7日(土)	曇	ハイジの会他合わせて20名	艶島、中島、中尾(の)、西嶋、山田、中尾 t、松本、富永、高田	「七夕と朗読の夕べ」を実施しました。詳細は「星くず」をご覧ください。(tsu)
8日(日)	曇	大川さん	艶島、松本	電子紙芝居の音出し実験。PC からアンプ→スピーカへ結果は良好でした。
13日(金)	晴	アベック2名	松野、長谷、西嶋	火星、アンタレス、ペガ、アルピレオ、W2、M57、M4、M22、M7、M8、M27、M51、リニア 2001A2(西嶋) 雨後の晴天。すばらしい…天の川くっきりただし星はまたたいていた…
14日(土)	はれ	2名	艶島、中島、小林 J、小林 M、長谷、土山、内藤、立川、松本、徳尾、中尾(の)、鹿釜(新運営委員)	トークアバウト ・今後のトークアバウトのあり方について。司会、トークアバウトの流れ ・星屑に運営委員紹介のページを載せよう! ・ダイノブ 24 時間営業への公聴会に参加し、天文台として光害に配慮する申し入れを行う。
15日(日)	うすぐもり	なし	艶島、高田	高田発案天体導入装置の試作品ができましたので艶島さんといっしょにテストしました。中尾のび太くんがもってきた研究室のPCケース化粧なおし(高田) 中島

20日(金)	曇り	松橋子 供会 120 人、お 客さん 10人、 計130 人	艶島、小林J、 長谷、松野、 木戸、松本、 高田、中尾の 徳尾、鹿釜	電子紙芝居「南の島のアメリカ」3回、 「夏の星空」2回
21日(土)	くもりの ちはれ	18名 熊大の 学生5 名	艶島、中島、 徳尾、中尾	こぼと保育園14名、電子紙芝居(中尾の)
22日(日)	くもり	家族連 れ4名 +6名	艶島、小林M、 高田	電子紙しばい 「南の島のアメリカ」「鳥の狩人たち」「夏の星座」 「ミスター・ジャパン」⑤と「MoonLight」① を持ってきました。(高田)
23日(月)	はれ		中尾の、鹿釜	火星、M57、M13、ダブルダブル 熊大天文部2名
27日(金)	くもり	17名	松野、長谷、 西嶋	月、火星、アルビレオ、おまけのひこ星、雲いっぱい こんなに曇っているのに人が多い、どうしたんでしょう。月と火星を行ったり来たりしました。(西嶋)
28日(土)	雨→く もり	なし	中島、艶島	雨、だけど、月は見えてる。 冷房はよく効いているけどさびしい夜でした。
29日(日)	曇りの ち晴れ	なし	艶島、小林M、 富永	デジカメで撮影(月とアルビレオ) アルビレオは最初なかなか視野の中央にこず手持ち8秒露出に直焦点撮影にチャレンジ→でも後からチャンとアダプタをつけ直して撮影成功! →天文普及研究会での発表に使います。(TSU)



国際宇宙ステーションペーパープラフト(1/200)  
ただいま天文台で建設中!!



この猫は天文台とは関係ありません。

ひえ～、久しぶり?の猛暑の毎日、如何お過ごしですか。私は夏バテしたと自分では思っているのですが、体型が夏バテしてなくて、同情されません。あんまりだーの毎日ですが、皆さんは体調大丈夫ですか。熱中症など、お気を付け下さい。夏バテ予防に、なんと甘酒が良いそうです。熱い甘酒を千ピリ千ピリとするのが、内臓を暖めるし、糖分がエネルギーにすぐ変わるのでよいのだそうです。甘酒というと、寒いイメージがありますが、昔から夏バテ予防として用いられた事から、甘酒の季語は夏なんですよ。ご存じでした?

☆H13年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

### ☆9月の天文現象&行事☆

- 1日(土) 二百十日 変光星アルゴルが極小
- 3日(月) 満月(06:43) 冥王星が東矩(13.8等 視直径0.14')
- 4日(火) 土星が西矩(0.1等 視直径13.8' 環視直径41.3')  
うお座33番星の星食(4.7等)
- 7日(金) 白露(はくろ…秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味)
- 8日(土) トークアバウト(20:00～)
- 11日(火) 下弦(04:00)
- 15日(土) 19P/Borrelly彗星が近日点通過(周期6.9)
- 16日(日) 変光星こぎつね座Rが極大(周期137日 7.0等～14.3等)
- 17日(月) 新月(19:27)
- 19日(水) 水星が東方最大離角(26'32.0' 0.1等 視直径6.9')
- 20日(木) 彼岸の入り
- 23日(日) 秋分の日(しゅうぶん…昼夜同じ長さになる日で秋分。秋の彼岸の中日)
- 24日(月) 上弦(18:31)

熊本県民天文台機関誌「星屑」2001年9月号 通巻318号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>